

中央

早川堀・みなもの美術館

拠点

北

東

中央

江南

秋葉

南

西

西蒲

主催：みなもの美術館実行委員会



みなもの美術館



他ではできない独創的なアート空間

新潟市内には多くの美術愛好家がいるが、その発表の場が少ないので、新しい発表の場が期待されている。早川堀は、新潟市の街なかの堀割のイメージを再生した街路空間であり、散歩コースおよび交流(溜まり)の拠点となることが期待される。これらを背景としたプロジェクトが「早川堀・みなもの美術館」である。

引きこもりがちな高齢者が地域社会に参画するきっかけとして、絵画教室や趣味で絵画を描いている美術愛好家の新しい作品の発表の機会と鑑賞の場を創出した。参加画家数18名、作品数26作品。あわせて、新潟市の堀割のイメージをPRするため、早川堀の水辺街路空間を活用した他ではできない独創的なアート空間創出を行った。

また、会場を地域住民の交流の場とするため、期間中開催された「早川堀キャンドルナイトみづつちPRブ

ロジェクト」と連携し、芸術祭の参加者の下町地域への誘客を図り、市外へのPR展開を行った。

成果目標の美術愛好家の新しい発表の場として、屋外の水辺空間を活用した実験的な取り組みができた。水辺の街路空間は散策路として、多くの市民、来訪者の目に触れる場所であり、当初の目標は達成された。

こうした取り組みが全市的に展開していくことも期待される。近隣の高齢者のみならず、昔近隣に住んでいた方や近隣で働く方も楽しむきっかけとなり、自然と交流が生まれていた。環境イメージが変わったという感想も寄せられており、楽しめる都市空間を創出することで、交流のきっかけづくりという目標が達成された。なお、評判の良かった作品は、販売されたという作家からの報告もあった。また、地域の団体と再びこの場所で展示を行えるよう計画中。

●7月14日(土)～10月8日(月・祝) みなもの美術館開館（早川堀）

水と土の芸術祭
Water and Land Niigata Art Festival 2018

市民プロジェクト2018アーカイブ 021